# 他治療が無効であった 急性中耳炎後の中耳貯留液残存に 麻杏甘石湯が著効した症例

おひさま耳鼻咽喉科 五十嵐 良和

### はじめに

2年前(2012年)に

麻杏甘石湯(適応:喘息)が

小児の中耳滲出液貯留に有効かどうかを検討

同年のくびき会、新潟地方会で発表

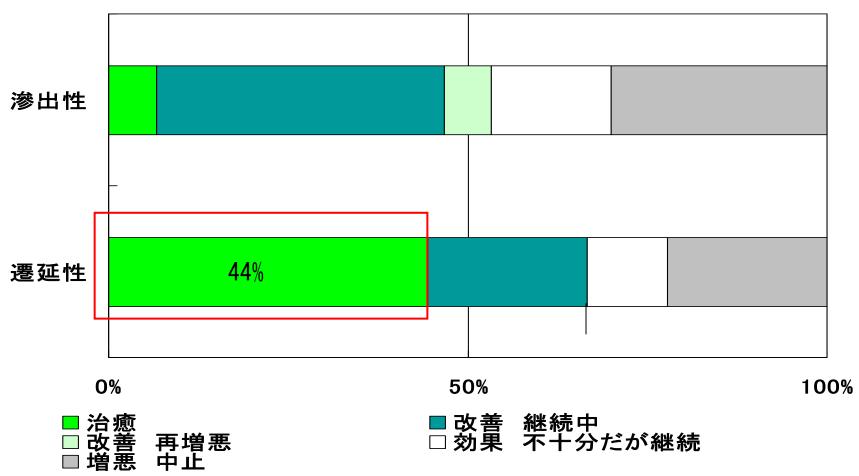
# 2012年の結果

	渗出性	遷延性	全体
効果なし	14	3	17
あり	16	6	22
有効率 %	53	67	56
治癒	2	4	6
改善あり継続中	12	2	14
改善後急性増悪	2	O	2

滲出性(初診時 急性炎症の所見なく 中耳貯留液を確認)

遷延性(初診時に急性中耳炎あり 急性炎症改善後 中耳貯留液残存)

# グラフ



遷延性(急性中耳炎後の中耳貯留液残存例)で治癒率が高いことが印象的

### 本当に効くのかどうか? 他施設でも試してしてみていただきたいと考え 「結果の真偽を確かめるため、 第三者による追試が望まれる」とまとめ 某耳鼻科臨床系雑誌に投稿

- 薬剤論文としての体裁が不適切により掲載不可
  - → 原稿を返却された

### 具体的には

- コントロール症例がないため薬剤の有効性に関するエビデンスがない
- 保護者へのインフォームド・コンセントの記載がない
- まとめの表現が論文として不適切

### 査読意見 から 考えたこと

- コントロール症例がないため薬剤の有効性に関するエビデンスがない (漢方製剤では難しいご注文)
- 保護者へのインフォームド・コンセントの記載がない (口頭で同意を得ていることを記載してある論文あり)
- まとめの表現が論文として不適切「結果の真偽を確かめるため、第三者による追試が望まれる」 (ストレートな表現を使いすぎた 論文では曖昧な表現が好まれる?)

### コントロール症例との比較は難しい、、、

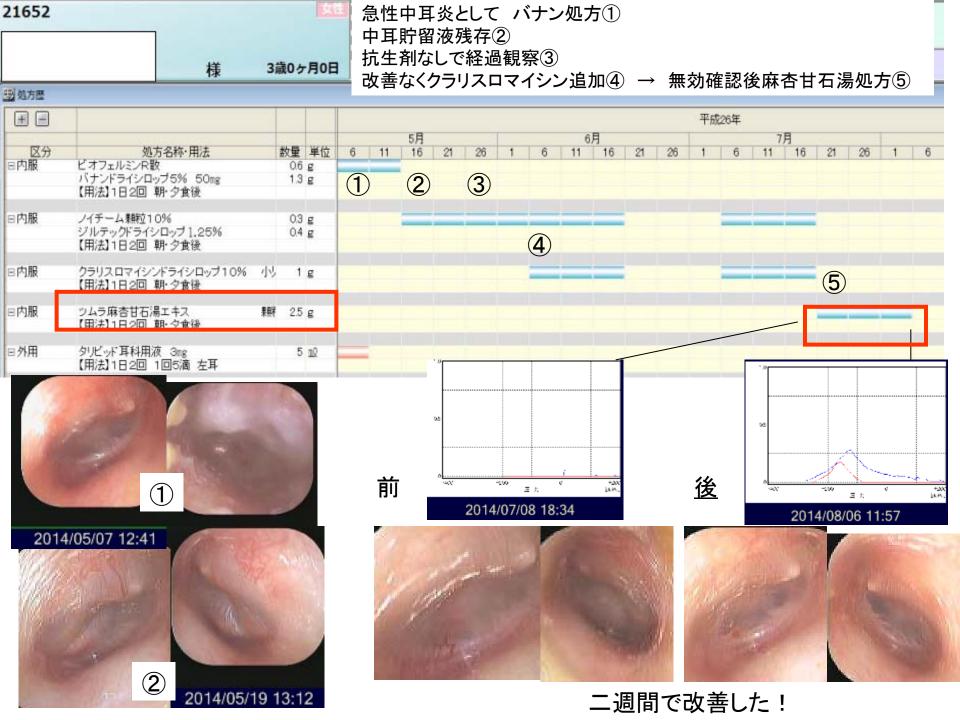
どうしたものかと考えた結果、

急性中耳炎の後、中耳貯留液が残存した症例で 他治療が無効と判断されたのちに 麻杏甘石湯を使うことをトライ

> 予想以上に著効した印象があり その症例の一部を提示

## 中耳炎の急性炎症改善後

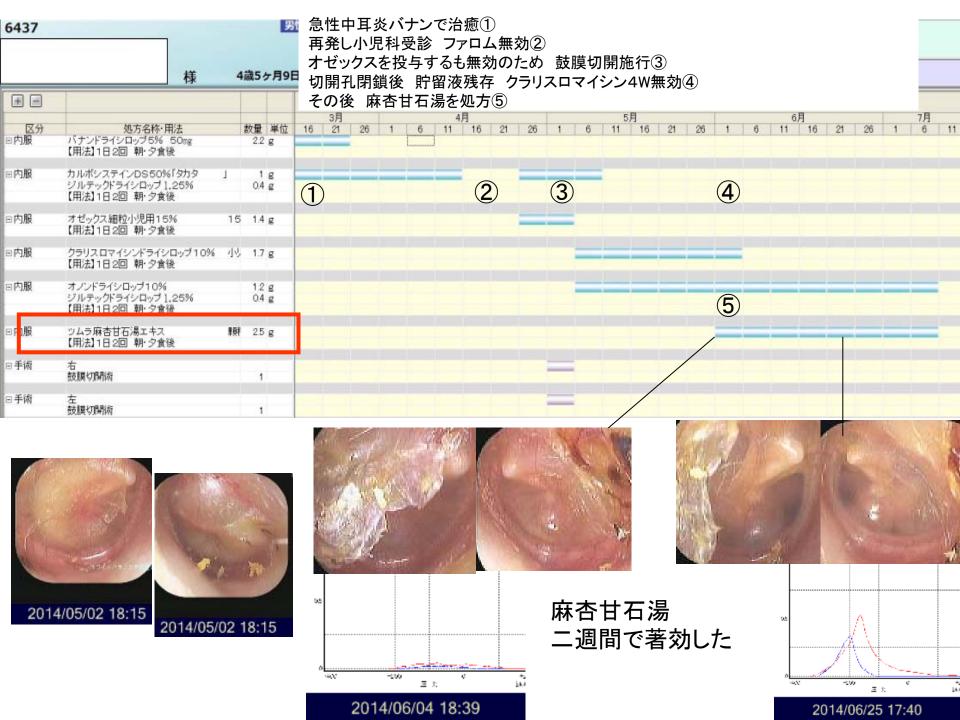
- 1 抗生剤なしで経過観察
- 2 次にマクロライドを追加
- 3 いずれも無効と判断したのち 麻杏甘石湯を処方した症例



# 一旦治癒再発した急性中耳炎 ファロム、オゼックス無効のため 鼓膜切開を施行

切開孔閉鎖後 貯留液残存

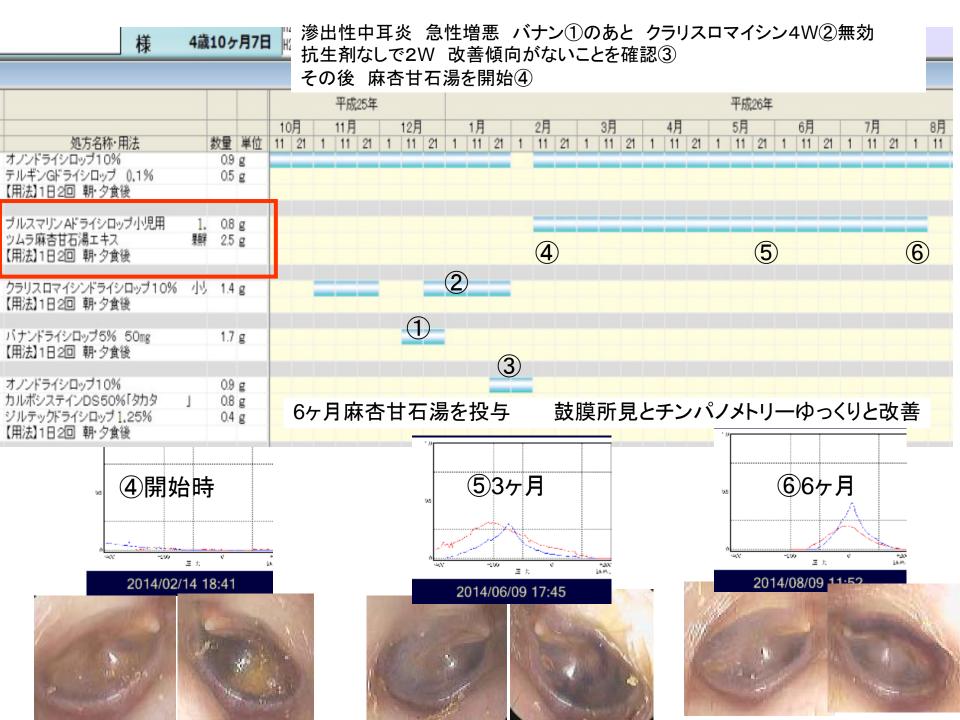
マクロライド投与で無効だった症例に 麻杏甘石湯を処方



## 滲出性中耳炎の急性増悪

バナンで急性炎症改善 中耳貯留液が残存

クラリスロマイシンで改善しなかった 症例に麻杏甘石湯を投与



急性中耳炎後に中耳貯留液残存 クラリスロマイシン投与中 急性増悪したため オゼックスを投与 その後も貯留液残存したため

チュービングをおすすめした症例

1074 31022

時々急性中耳炎を生じる症例 バナン① → クラリスロマイシン4W② → 急性増悪 オゼックス使用③ 中耳貯留液残存チュービングの説明

4W抗生剤なしで観察 変化ないことを確認後 麻杏甘石湯を開始 ④

#### 4歳5ヶ月19日

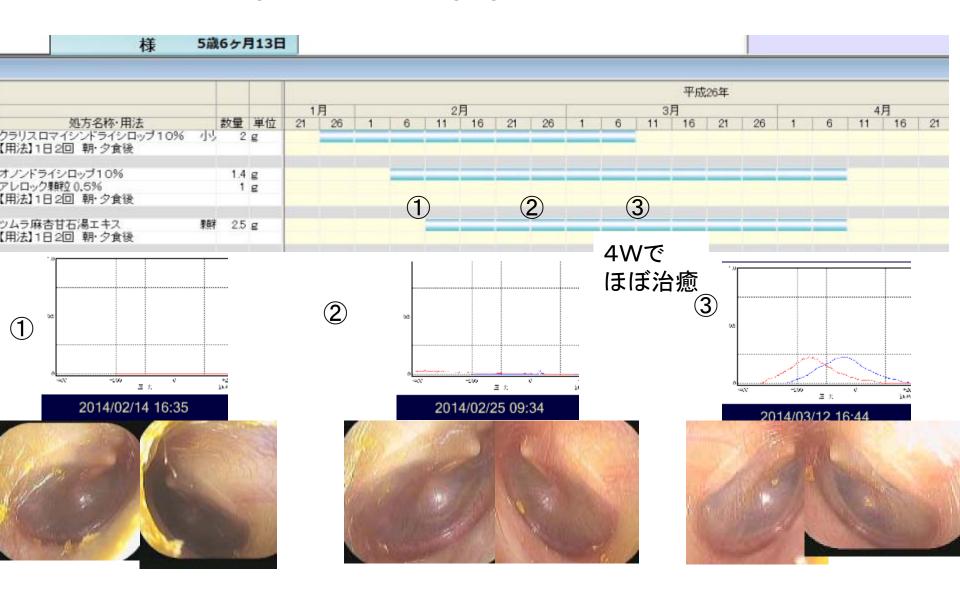


## 他院で急性中耳炎治療後

改善せずと当院を受診した症例

3W前に急性中耳炎罹患 他院で治療したものの改善せずと当院受診 クラリスロマイシンを4W使ってダメ

麻杏甘石湯を追加併用① 2W×2でほぼ治癒②→③ 4W処方したのち受診せず



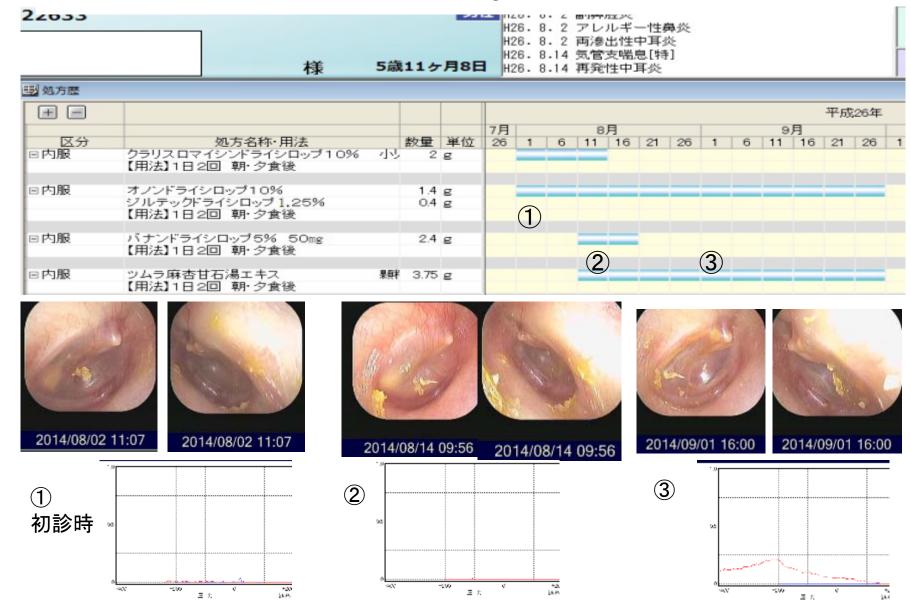
他院で2ヶ月中耳炎治療(メイアクト エリスロシン) チューブ留置を勧められ

当院を受診した症例

2 r月前から他院で中耳炎治療(メイアクト エリスロシン) 改善なくチューブ留置を勧められ当院受診まずクラリスロマイシン2W投与 ①

急性増悪傾向あり バナン1Wと麻杏甘石湯を開始 ②

2W後の9/1 鼓膜、自覚症状ともに改善傾向を認め 4W処方 ③



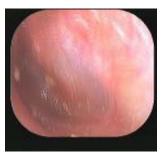
# 麻杏甘石湯以外の漢方 (辛夷清肺湯)を 試してみた症例

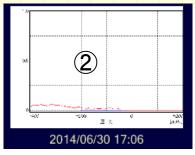
急性中耳炎 バナン、オゼックスを投与したが中耳貯留液残存 ① クラリスロマイシン、辛夷清肺湯で約3ヶ月経過をみたが改善なし② 麻杏甘石湯投与で著効 ③ 8月末終了

2歳10ヶ月22日

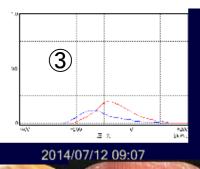
# =																					平	成26	年				
						月		2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月	
区分	処方名称·用法		数量		11	21	1	11	21	1	11	21	1	11	21	1	11	21	1	11	21	1	11	21	1	11	21
□内服	オノンドライシロップ10%		0.7	g																							
	アレロック顆粒 0.5%		1	g																							
	【用法】1日2回 朝·夕食後																										
□内服	クラリスロマイシンドライシロップ10%	小り	1	g																							
	【用法】1日2回 朝·夕食後																										
_ + 100	12 -t																										
□内服	ビオフェルミンR散		0.7																								
	バナンドライシロップ5% 50mg 【用法】1日2回 朝・夕食後		1.2	g					(	1																	
	[H/公】1日2日 朝·文良核									U																	
□内服	オゼックス細粒小児用15%	15	0.8	σ.						1/2										_							
אותנייו בו	【用法】1日2回 朝·夕食後	10	0.0	E																2							
	MINATURE WIDE																										
□内服	ツムラ辛夷清肺湯エキス	顆眯	2.5	σ																							
-1 3730	【用法】1日2回 朝·夕食後	TAGE		•																			(	3)			
																							6				
□内服	ツムラ麻杏甘石湯エキス	顆眯	2.5	g																							
	【用法】1日2回 朝·夕食後			_																							
							. "																				











### 最後に、、、

当院における 現時点の小児中耳炎の 治療方針をまとめてみました

# 当院における小児中耳炎の治療方針(2014年9月時点)

### 小児急性中耳炎ガイドラインで中等症以上の症例に対して

- 1 バナン 鼻漏(上咽頭)培養 培養結果のでる一週間後に再診
- 2 症状が改善しない場合 オゼックスへ変更
- 3 オゼックスでもダメなとき 初めて鼓膜切開

怖い記憶を残す 鼓膜切開はできるだけおこなわない

### 急性炎症改善後 貯留液が残った場合

- 1 クラリスロマイシン 2W
- 2 麻杏甘石湯 (これでダメならチュービング)

鼻内所見を参考にして 抗アレルギー剤 去痰剤を併用することが多い

### 急性期の抗生剤選択について

■ 培養・同定

160点)

1. Haemophilus influenzae (BLNAR)	(2+)
2. Streptococcus pneumoniae (肺炎球菌)	(1+)
3. Branhamella catarrhalis	(1+)

感受性判定基準 S:感受性 1:中間 R:耐性

莱 剤 名	1	2	3	4	5
ジェニナック (GRNX)	S	S	S		
ታብ7/ነት (CDTR-PI)	S	S	S		
クラピット(LVFX)	S	S	S		
クラリシット (CAM)	S	R	S		
ハ・ナン (CPDX-PR)	S	S	S		
7モキシシリン (AMPC)	R	S	R		
ミ/マイシン (MINO)	S	R	S		
オーク・メチン (CVA/AMPC)	R	S	S		
フロモックス (CFPN)	S	S	S		

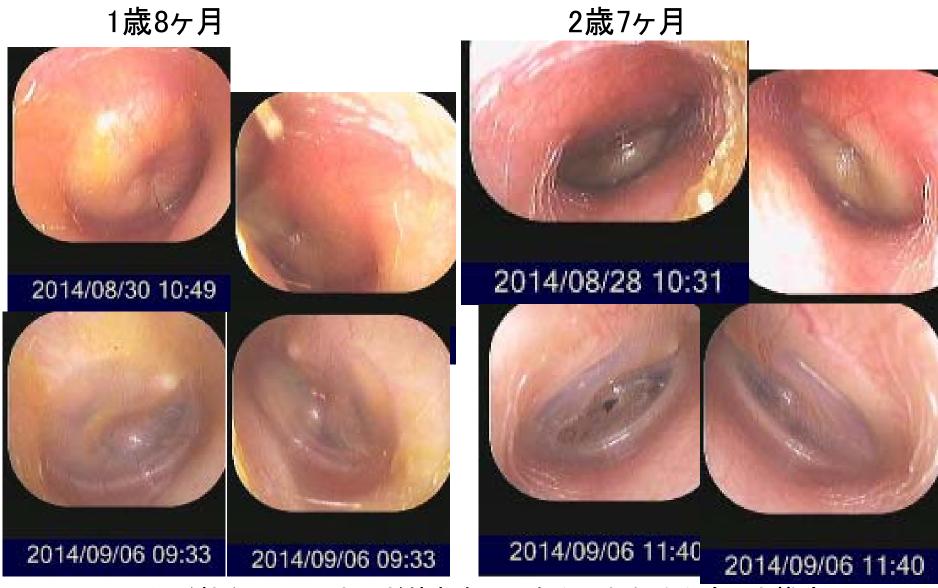
ガイドラインで推奨されている
<u>AMPCは</u>
<u>当院の薬剤感受性試験でR(耐性)</u>
が多い(上図)

メイアクト フロモックスは効果 (切れ味)が昔よりかなり弱い印象

オーグメンチン(クラバモックス)は下痢が高頻度に生じて使いにくい

試しに使い始めた**バナン** (ガイドラインにない)<mark>がとても優秀</mark> (分2で保護者からも喜ばれる)

### バナン5-7日間投与で著効(ほぼ治癒)した最近の症例



(よく効くのは ほとんど使われてこなかったためかも?と推定)

# まとめ

小児の中耳炎で急性炎症改善後 中耳貯留液が残存する症例では 麻杏甘石湯を使ってみる価値が十分ある と 改めて実感された。

急性中耳炎に用いる抗生剤として ガイドラインにないバナンが有効 なことも追加した。